

鹿児島県歯科医師連盟の役割・活動の成果

日本歯科医師連盟は政治力を強化し、日本歯科医師会の目的を達成させるために必要な政治活動を行い、国民医療の発展に資することを目的として設立されています。その役割は多岐にわたりますが、身近で分かりやすいものを列記すると

- ・診療報酬改定率に対するロビー活動
- ・経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)への歯科医療の重要性の提言
- ・セーフティネットの指定業種への歯科の追加
- ・租税特別措置法26条
- ・国民皆歯科健診の実現
- ・災害時歯科保健医療提供体制整備事業の導入

鹿児島県歯科医師連盟では、学術団体である公益社団法人鹿児島県歯科医師会と密接な連携のもとにそれ以外にも様々な補助金へのアプローチをしてきました。最近では歯科学院専門学校へのCADの導入、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金の獲得、さらに2022年度には県との交渉の結果、地域創生臨時交付金として会員に一律8万円が給付されました。

○地域医療介護総合確保基金事業 (歯科技工デジタル化システム整備事業)

年度	費用	備考
平成30年度	5,632,000円	歯科学院専門学校(CAD CAM)

合計 5,632,000円

○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・ 医療提供体制確保支援補助

年度	費用	備考
令和2年度	1,250,000円	口腔保健センター

合計 1,250,000円

○地方創生臨時交付金

年度	費用	備考
令和4年度	80,000円	会員一律

さらに会館建設では、会員の先生方に負担を一切かけずに建設するという会館建設検討委員会の定めた大命題のもとに、県歯会執行部から国の補助金を検討するように鹿児島県歯科医師連盟に要請がありました。

そこで、県選出の国会議員、知事にも労をとっていただき、地域医療介護総合確保基金という制度を利用して、地域医療の一端を担うという名目で歯科学院専門学校、センターに対して令和元年、2年と合わせて1億677万円余の補助金が支給されております。

○地域医療介護総合確保基金事業 (歯科衛生士・歯科技工士養成所施設整備事業) (在宅歯科医療連携拠点・障害者等歯科診療所等施設整備事業)

年度	費用	備考
令和元年度	38,828,000円	歯科学院専門学校 27,885,000円 口腔保健センター 10,943,000円
令和2年度	67,949,000円	歯科学院専門学校 48,798,000円 口腔保健センター 19,151,000円

合計 106,777,000円

この時には、会館建設の間、技工士科の学生募集停止を防ぐために、文科省や国会議員に労をとっていただいて鹿児島大学の一部を間借りする形がとれました。このように、会員、県民のために鹿児島県歯科医師会と車の両輪としての役割を担っている事をご理解いただければと思います。

さらに令和2年度に続き今年度も、鹿児島県歯科医師会を支援する形で災害時歯科保健医療提供体制整備事業の導入に関しては新たな予算を獲得するために活動しております。

○災害時歯科保健医療提供体制整備事業

年度	費用	備考
令和2年度	4,993,000円	口腔保健センター
令和7年度	19,008,000円	申請中 7市郡歯会、口腔保健センター、 歯科巡回診療車

合計 24,001,000円